

経営改善普及事業取組事例集

会議所名： 鈴鹿商工会議所

指導員名： 潮崎誠・川口栄政

【企業概要】

事業所名：(有)伊藤総合コンサルタンツ 資本金：4,000千円
業種：再生資源製造業など 従業員数：9名
支援テーマ・内容：[経営革新] 地域に密着したコンパクトなペットボトルリサイクル事業の展開と障害者の雇用創出

【支援に至った背景～経緯】

障害者雇用の厳しい現実を目の当たりにしていた経営者は、CO2削減や環境問題にも関心があり、ペットボトルに付加価値を生むよう処理・加工したペットフレークは、多くの製品にリサイクルが可能で市場性が高く、三重県はもとより今まで日本にない新たなビジネスモデルではないかと考え、そのプランを商工会議所に持ち込み、支援がスタートした。

【支援の経過】

- 平成19年5月 税務・労務などを中心とした経営全般の支援
- 平成22年8月 経営革新計画の承認申請に関する支援(専門家派遣)
- 平成24年2月 経営革新計画の変更申請に関する支援(専門家派遣)

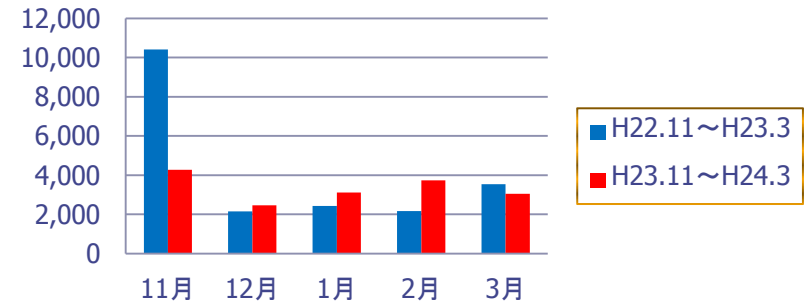
【支援のポイント】

- 課題の整理
 - ・ 工場建設及びラベルはがし・洗浄・粉碎・脱水・乾燥等の機能を有する機械設備購入資金の調達。
 - ・ 回収先、従業員の確保。産業廃棄物関係の許可取得など。
- 支援のポイント
 - ・ 取り組み内容(新規性・市場性・販売戦略・社会性・関連する法律等)について聞き取り・調査・研究をし、プランの肉付けを行った。
 - ・ 売上高推移表、借入金返済計画及び資金繰り計画などの作成を中心に経営革新計画承認を取得するための全面的支援を行った。

【支援の効果・成果】

- 平成22年10月、三重県の経営革新計画の承認を受けることができた。
- 承認取得後、金融機関より融資を受け、資金を調達することができた。
- 産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を取得できた。
- 上記の結果、鈴鹿市に工場を開設・操業し始めることができた。
- 障害者を積極的に雇用する社会貢献企業として、環境に配慮した循環型社会の構築のビジネスモデルとしてマスコミに多数取り上げられた。
- 地元本田技研工業で作られる自動車部品としてリサイクルされている。
- 子供に環境教育ができる場として社会見学を積極的に受け入れている。

月別売上(千円)



【支援策企業の声】

- 私が描いたプランを現実のものにして頂き、工場を開設・操業できたことに、非常に感謝している。
- 専門家及び商工会議所の全面的なバックアップで、経営革新計画の承認取得及び融資を受けることができ、とても満足している。
- 特に商工会議所(経営指導員)にはいろいろ親身に相談にのって頂き助けてもらった。今後も継続的な支援・指導をお願いしたい。